

# KRC WEB REPORT

## 徒然想

5月に吹く風は、一年中でもっとも爽やかです。山々の美しい新緑を揺らしながら、あたたかい陽射しとともに頬をかすめ水色の空にとけていきます。ちなみに、この季節に青葉を揺らす強い風のことを、青嵐と呼ぶそうです。「あおあらし」とも「せいらん」とも言います。新入生や新入社員たちにとっては、ざわつくような期待と不安が入り混じる4月とはまた少し違った風の感じ方になっていることでしょう。理想と現実とのギャップを吹き飛ばす強い風になってほしいと思う次第です。

## TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

### 第10回3次元計測フォーラム「SPAR2014J」のご案内

2014年6月4、5日の2日間、川崎市産業振興会館(川崎市)において、第10回3次元計測フォーラム「SPAR2014J」が開催されます。このフォーラムは、レーザスキャナなど3次元計測技術がさまざまな産業分野で活用されるようになってきたことを背景に、世界を代表するハード、ソフトウェア、それに計測サービスの関係者が毎回500人以上集い、最新技術を展示し情報を交換する場です。対象領域は、プラント、土木、建築、移動体計測、文化財、UAV(無人飛行体)を含めた広い用途を対象としています。

特に今回は現在話題の多い「UAV 特別セッション」を開催し、我国における先駆者としてNHK(5月9日:ニュースウォッチ 9)でも取り上げられた千葉大学 野波健蔵特別教授に基調講演をいただきます。またこのセッションでは、最新のUAVの制御技術のみならずコンピュータビジョン技術(以下CV)を用いた自動3D化などの処理技術や飛行の安全性についても議論が予定されています。

弊社は「土木セッション」において、橋梁・港湾構造物の調査点検にUAVあるいは海上から撮影した多視点画像を元にCV技術を用いた「3Dモデル化」、および「ひび割れ抽出技術」を適用した事例を、小沼恵太郎様(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、川島 仁様(東亜建設工業株式会社)にそれぞれ専門技術者の立場から今後の方向性や課題について紹介していただきます。また「UAV 特別セッション」では、これまで軍艦島(産業遺産)のモニタリングに応用した事例も含め、UAVの最新の技術動向などの司会進行を担当させていただきます。

#### ■ UAV(無人飛行体)を用いた構造物調査事例

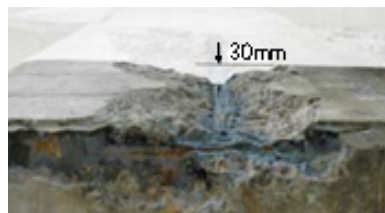


橋梁・港湾構造物の調査点検

#### ■ コンピュータビジョン(CV)技術を用いた自動3D化



CV技術を用いて作成した3Dモデル



剥離、錆などの損傷を確認

●参加ご希望の方は、下記のHPから会議(有料)チラシおよび展示会無料招待状を出力してご参加ください。

<http://www.sparj.com/> (SPAR2014J HPよりチラシ) <http://www.sparj.com/program3.pdf> (プログラム)

弊社HPもあわせてご覧ください。 <http://www.krcnet.co.jp/topics/topics71.html>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先: [krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>